

第三十
エレミヤ書
聖徒伝 251

主の慈しみと 厳しさを

エレミヤ書 30章

イスラエルの裁きと回復

アウトライン

0. イントロダクション

I. 最終的な裁きと回復 1～15

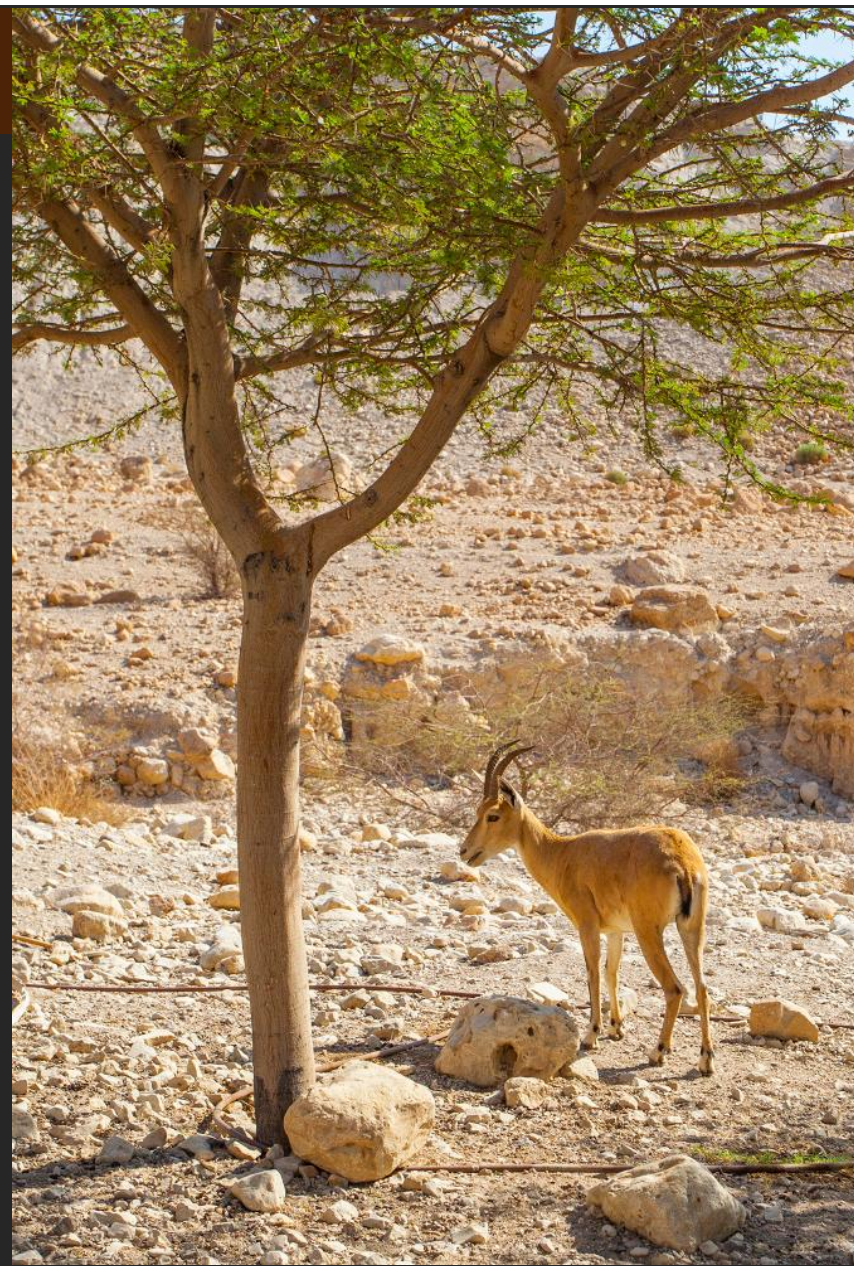
II. 裁きと救いの真の支配者 16～25

III. 失われない恵みの土台

アブラハム契約

IV. まとめと適用

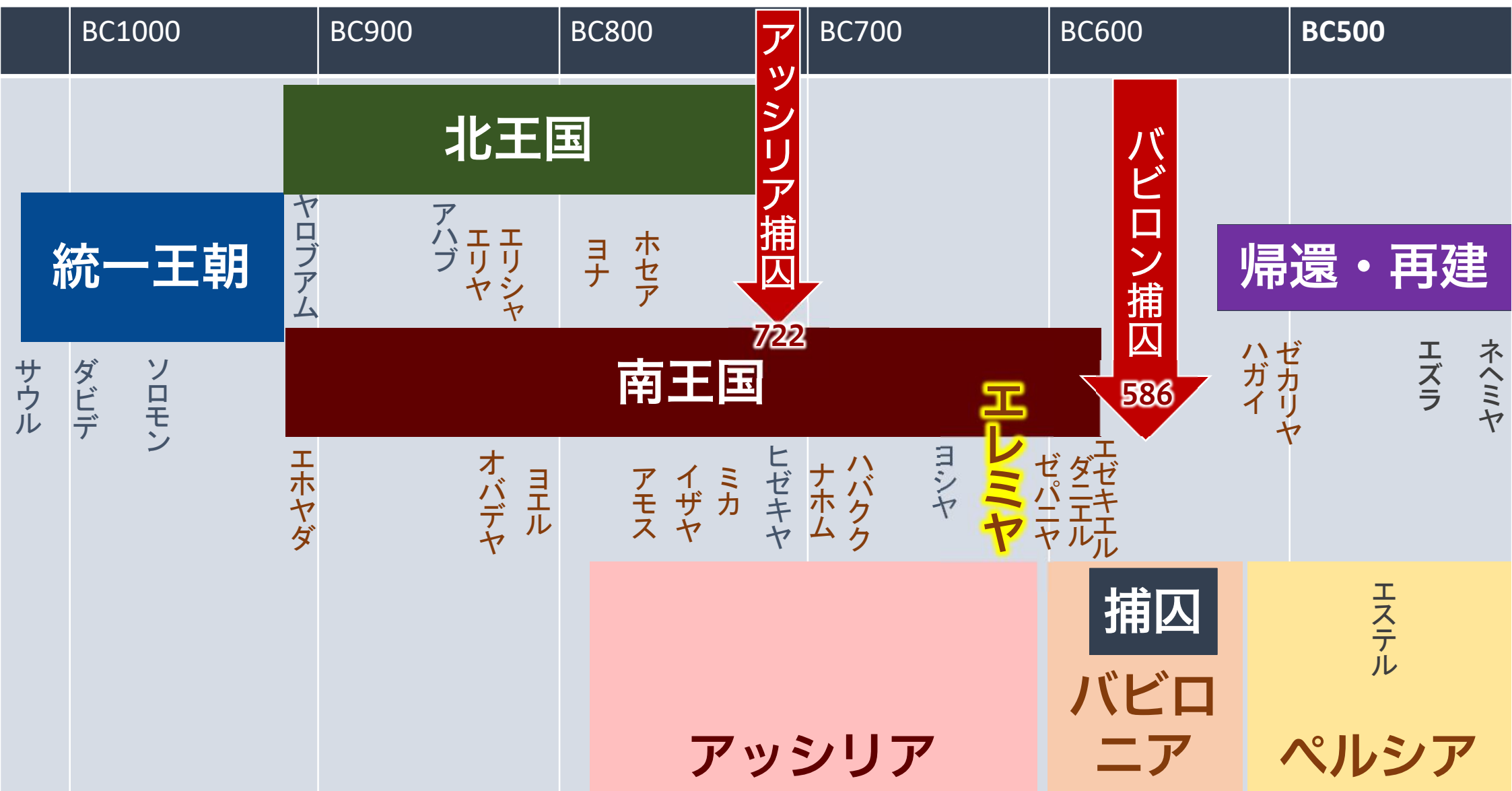
主の慈しみと厳しさを覚えよう



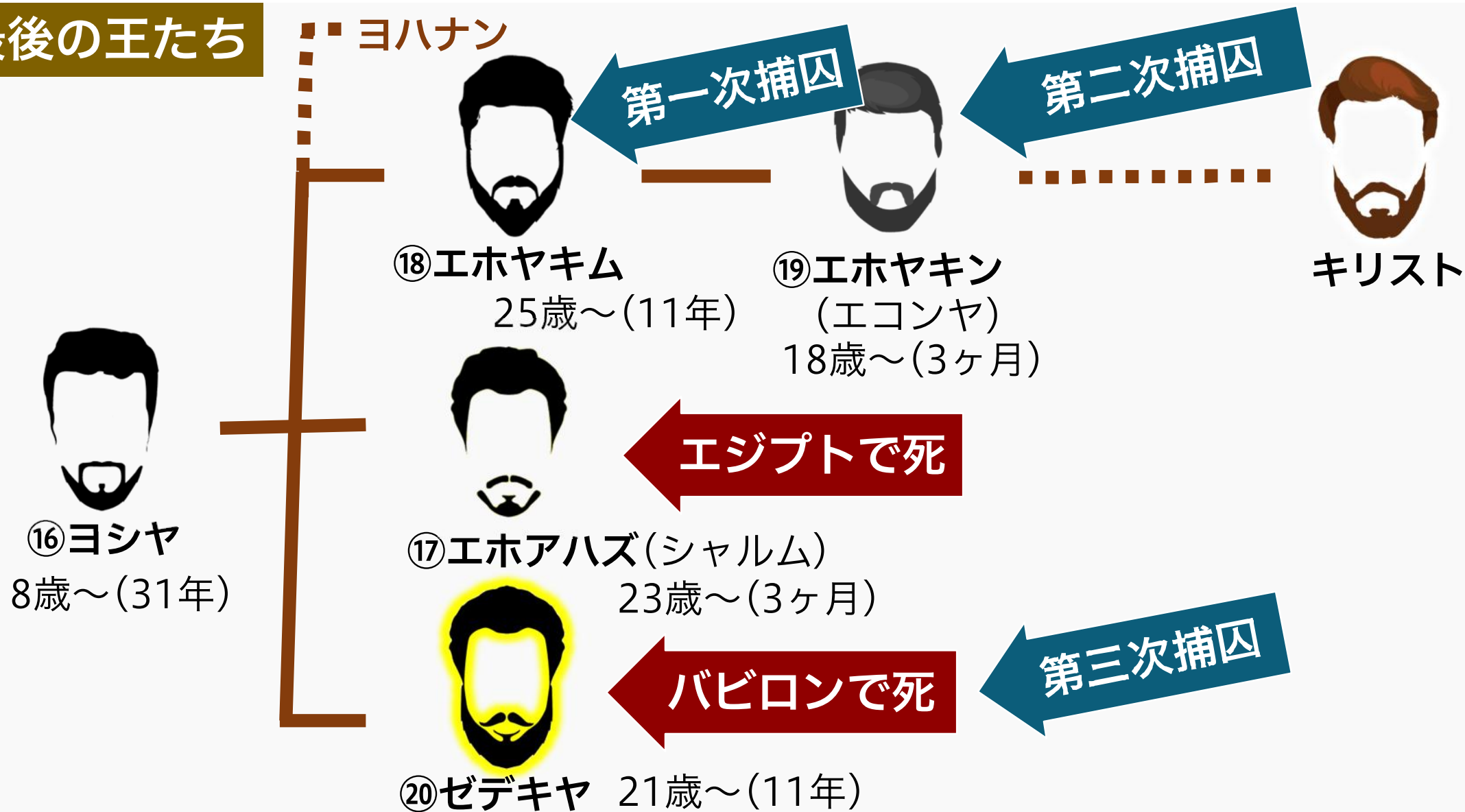


0. イントロダクション

イスラエル王国史



最後の王たち



預言の告げる時代は混在しているが…



今だから分かる 段階的な預言の内容





I. 最終的な裁きと回復

エレミヤ書30章1～15節

イスラエル南部の荒野

奨励

書き記せ エレ30:1～2

【主】からエレミヤにあったことばは、次のとおりである。

イスラエルの神、【主】はこう言われる。
「わたしがあなたに語ったことばをみな、書物に書き記せ*。」

*エレミヤに繰り返されている命令。

主に命じられてエレミヤ書は記された。

■ 預言者が、命令通りに記したからこそ、私たちの手元に書簡がある。



宣告

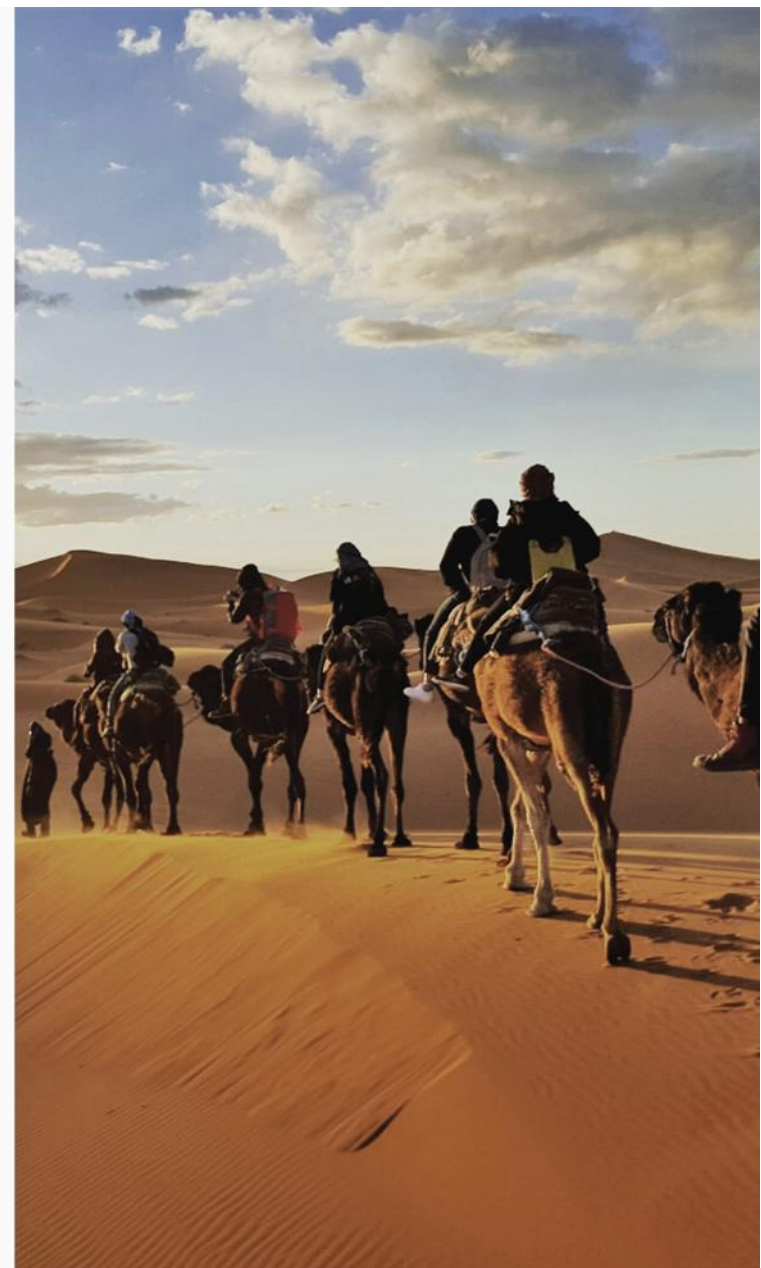
その時代 エレ30:3

見よ、**その時代***が来る—【主】のことば—。
そのとき*、わたしはわたしの民イスラエルと
ユダを回復させる —【主】は言われる—。
わたしは彼らを、その父祖に与えた地に帰ら
せる。彼らはそれを所有する。」

***イスラエルの回復の時。**

直近では、バビロン捕囚からの解放。

究極は、大艱難の後の、神の国(千年王国)



宣告

恐れわななく声 エレ30:4～5

【主】がイスラエルとユダについて語られたことは次のとおりである。

まことに【主】はこう言われる。

「恐れてわななく声を、われわれ*は聞いた。
『恐怖だ。平安がない』と。」

■父子聖霊なる三位一体の神*が、
イスラエルの叫びを聞かれた。



宣告 ヤコブの苦難の時 エレ30:6～7

さあ、男に子が産めるか、尋ねてみよ。なぜ、わたしは勇士がみな産婦のように腰に手を当てている*のを見るのか。また、どの顔も青ざめているのを。

わざわざいだ。実にその日*は大いなる日、比べようもない日。それはヤコブには苦難の時*。だが、彼はそこから救われる*。

＊絶望し、苦しむ様子

＊大艱難時代(ヤコブの苦難の時)

＊大艱難時代の最後に、メシアが再臨



宣告

砕かれるくびき エレ30:8～9

その日になると一万軍の【主】のことは—
わたしはあなたの首のくびきを砕き、あなた
のかせを解く。他国人が再び彼を奴隷にする
ことはない。

彼らは彼らの神、【主】と、わたしが彼らの
ために立てる彼らの王ダビデ*に仕える。

＊ダビデの子・メシア

「一つの正しい若枝(エレミヤ23:5)」

■ 神の国で、イスラエルは主だけに仕える。
誰の奴隷にもなることはない。



宣告

永遠の帰還 エレ30:10

わたしのしもべヤコブよ、恐れるな。——
【主】のことば——イスラエルよ、おのの
くな。見よ。わたしが、あなたを遠くから、
あなたの子孫を捕囚の地から救う*からだ。
ヤコブは帰って来て、平穏に安らかに生き、
脅かす者はだれもない*。

*「追い散らした先のあらゆる国々と
あらゆる場所から(エレミヤ29:14)」

*何者にも脅かされない、完全な帰還。
バビロン捕囚の解放後は様々な苦難が。



宣告

主の懲らしめの時 エレ30:11

わたしがあなたとともにいて、——【主】のことば——あなたを救うからだ。わたしが、あなたを迫いやった先のすべての国々を滅ぼし尽くすからだ。しかし、あなたを滅ぼし尽くすことはない。ただし、さばきによってあなたを懲らしめる*。決してあなたを罰せずにおくことはない。」

＊バビロン捕囚からはペルシアの台頭で解放。
大艱難時代は、イスラエルへの裁きの時。
2/3が死ぬが、残りは民族的回心、救いへ。



宣告 懲らしめの結果 エレ30:12～13

まことに【主】はこう言われる。

「あなたの傷は癒やされがたく、あなたの打ち傷は痛んでいる。

あなたの訴えを擁護する者もなく、腫れものに薬を付けて、あなたを癒やす者もない。」

■大艱難後半には、反キリストの大迫害が。
最後は、全世界の軍隊が結集し、
イスラエル殲滅のために攻め上ってくる。



野ジカ(アイベックス)

宣告 見捨てられた民 エレ30:14

あなたの恋人たちはみな、あなたを忘れ、あなたを尋ねようとしめない。わたしが、敵を打つようにあなたを打ち、容赦なくあなたを懲らしめたからだ。あなたの咎が大きく、あなたの罪が重いために。

■ 7年間の平和条約を結んだ反キリストは、大艱難時代の後半に、本性を現し大迫害を。イスラエル味方する国もなくなる。



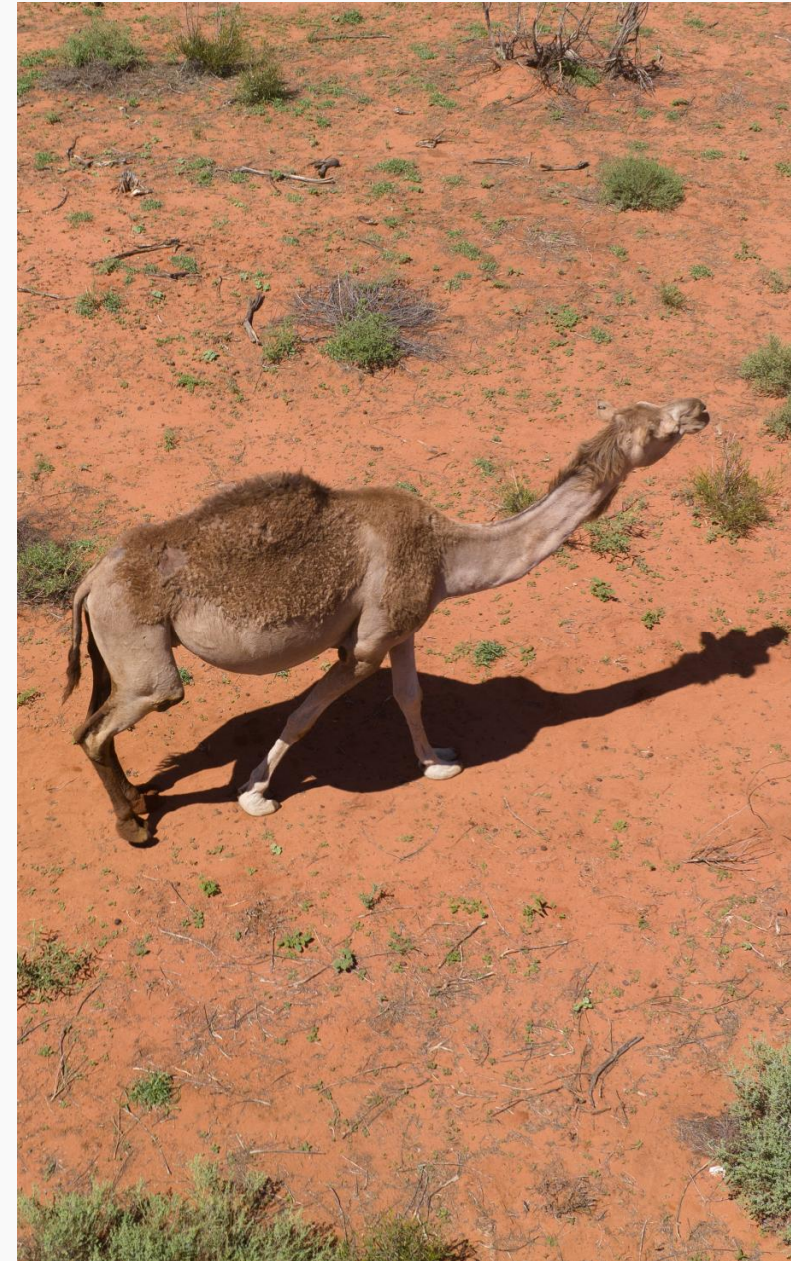
野生のロバ

宣告

罪と咎のゆえに エレ30:15

なぜ、あなたは自分の傷のために叫ぶのか。
あなたの痛みは癒やされがたい。あなたの
咎が大きく、あなたの罪が重いために、わ
たしはこれらのことを、あなたにしたのだ。

■主に逆らい、メシアを拒んだイスラエル。
重い罪への最終的な裁きが大艱難時代。





Ⅱ. 裁きと救いの真の支配者

エレミヤ書30章16～24節

エルサレム

宣告 報いを返す神 エレ30:16

それゆえ、わたしは言う。あなたを食う者はみな、かえって食われ、あなたの敵はみな、捕らわれの身となって行き、あなたから略奪した者は、略奪され、あなたをかすめ奪った者は、わたしがみな獲物として与える。

- バビロニア、ペルシア、ローマ、ナチス…。イスラエルの迫害者はことごとく滅亡。
- 再臨の主イエスの軍勢が、敵を一掃。イスラエルと敵の立場は完全に逆転。



宣告 主の癒やし エレ30:17

まことに、わたしはあなたの傷*を治し、
あなたの打ち傷*を癒やす。—【主】のことば—
まことに、あなたは『捨てられた女』、
『尋ねる者のないシオン』と呼ばれた。

＊主の懲らしめによって受けた“傷”

■世に見捨てられたイスラエルの民を、
主が裁き、主が回復される。



宣告

イスラエルの回復 エレ30:18

—【主】はこう言われる—見よ。わたしは
ヤコブの天幕*を回復させ、その住まいをあ
われむ。都はその丘の上に建て直され、宮
殿はその定められている場所に建つ。

*イスラエルのこと

「アモス9:11 その日、わたしは倒れている
ダビデの仮庵*を起こす。その破れを繕い、
その廃墟を起こし、昔の日のようにこれを
建て直す。」

➡イスラエルの王朝・統治の回復



宣告

イスラエルの繁栄 30:19～20

彼らから、感謝の歌と、喜び笑う声が湧き上がる。わたしは人を増やして、減らすことはない。わたしが尊く扱うので、彼らは小さな者ではなくなる。その子たちは昔のようになり、その会衆はわたしの前で堅く立てられる。わたしはこれを圧迫する者をみな罰する。

- バビロン捕囚、ローマによる都の陥落、ホロコースト…、何度も激減を経験してきたのが、イスラエル。
- 千年王国では、イスラエルが世界の中心に。



野に咲くアネモネ

宣告

真の支配者 エレ30:21

その権力者*は彼らのうちの一人、その支配者*はその中から出る。わたしは彼を近づけ、彼はわたしに近づく。いのちをかけてわたしに近づく者*は、いったいだれか。—【主】のことば—あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。」

＊千年王国の王は、主イエス・キリスト

■ イスラエルの罪のために死なれ、

栄光の姿で復活し、神の国を統治される。



宣告

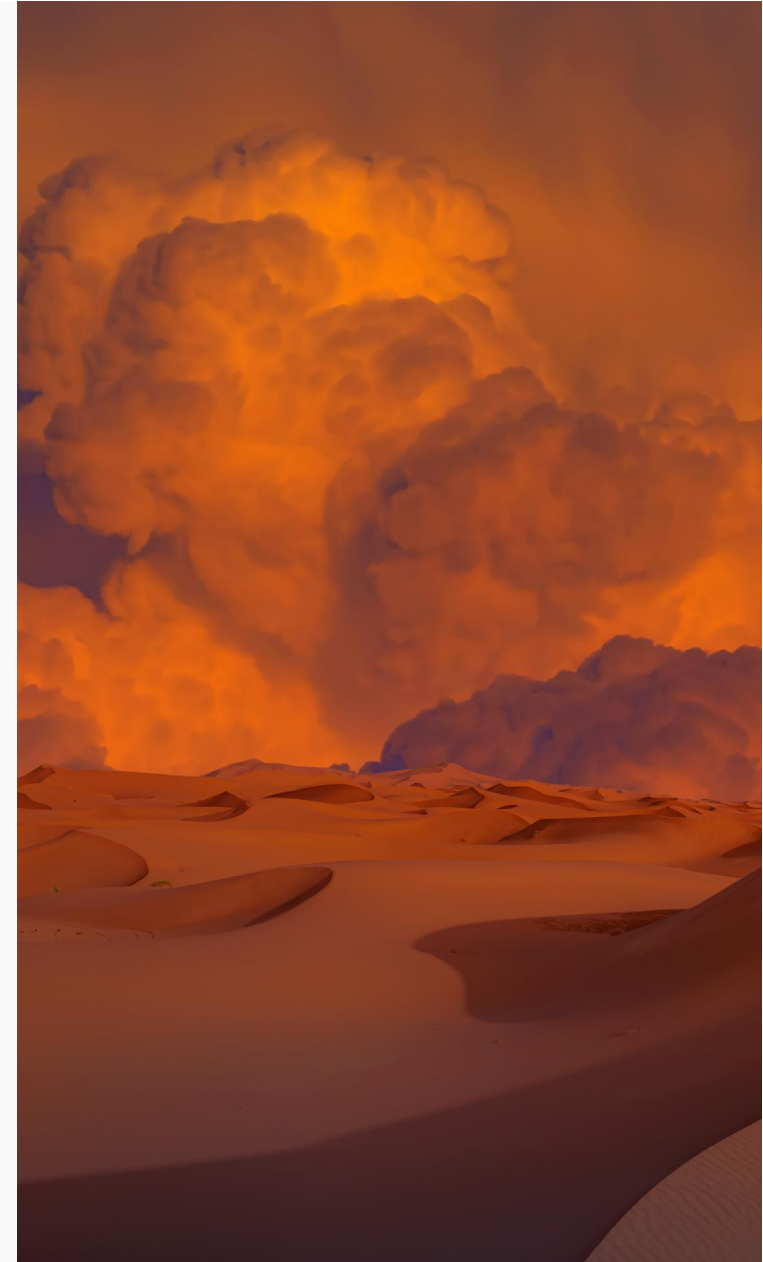
主の燃える怒り エレ30:23～24

見よ。【主】のつむじ風*が憤りとなって出て行く。渦巻く暴風が悪者の頭上に荒れ狂う。

【主】の燃える怒りは、去ることはない。主が心の思うところを行って、成し遂げるまでは。終わりの日に、あなたがたはそれを悟る。

＊大いなる暴風が地の果てから起こる
(エレミヤ23:32)

■世の終わりの裁きは、必ず下る。
イスラエルは大艱難時間を経て、
民族的回心に至る。





Ⅲ. 失われない恵みの土台・アブラハム契約

ヘブロン・アブラハムの墓

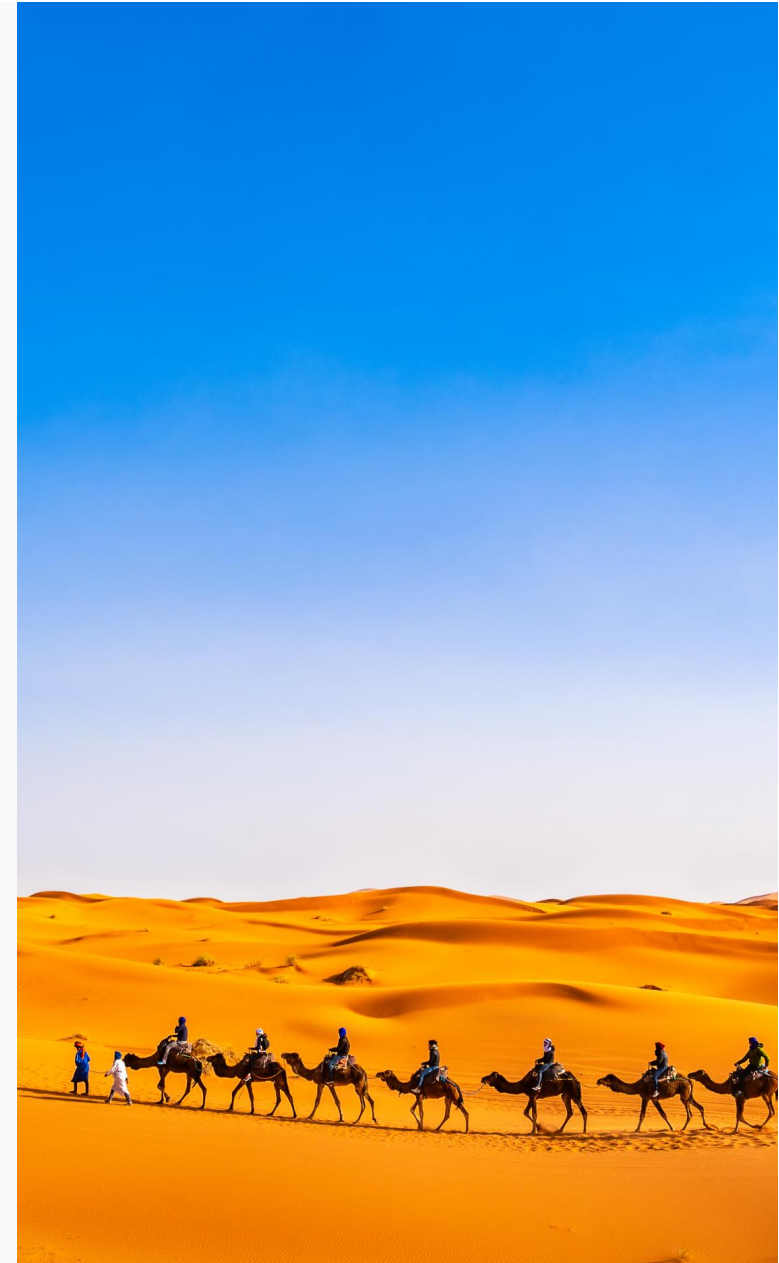
アブラハムの信仰

ヘブル 11:8

信仰によって、アブラハムは相続財産として受け取るべき地に出て行くようにと召しを受けたときに、それに従い、どこに行くのかわ知らずに出て行きました。

■ アブラハムが信仰により得た恵みの契約

- ① イスラエルの繁栄
- ② 約束された土地の相続
- ③ 子孫にメシアが誕生



信仰によって義とされて

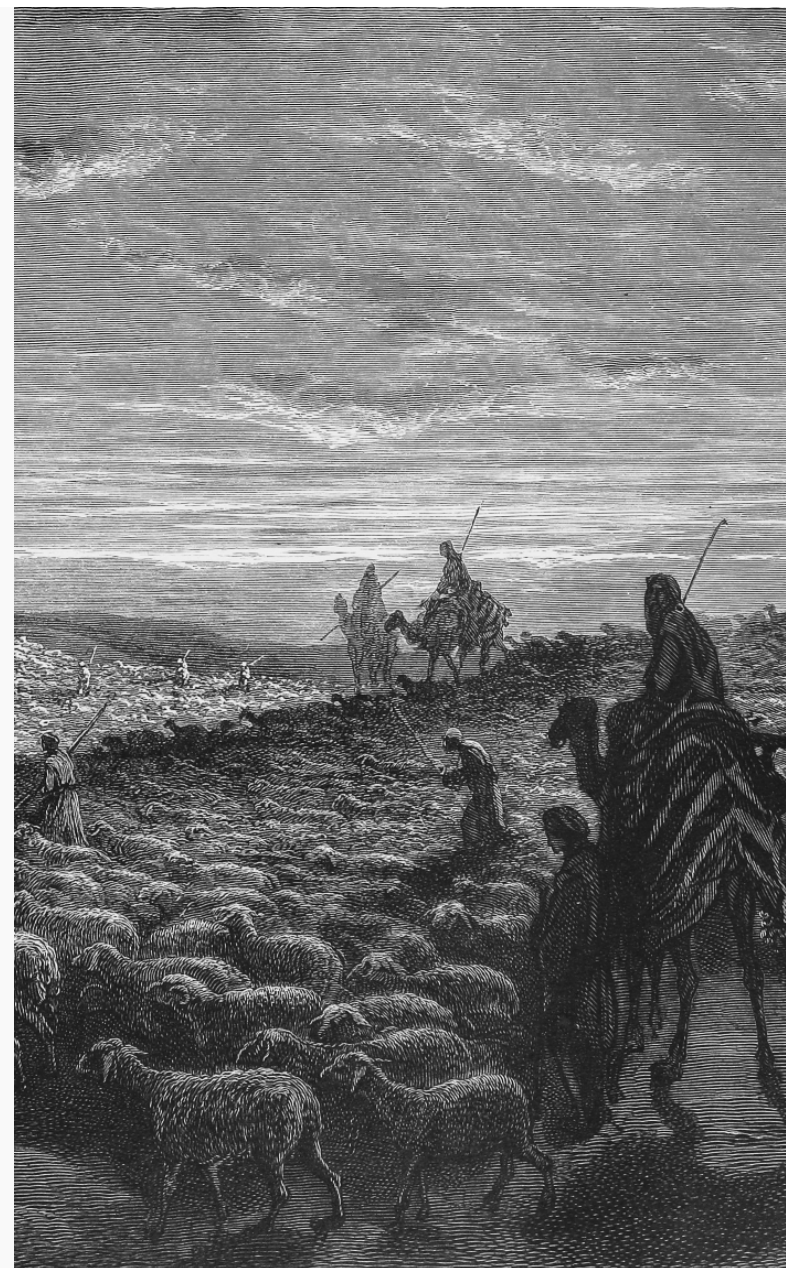
ロマ 4:13

というのは、世界の相続人となるという約束が、アブラハムに、あるいは彼の子孫に与えられたのは、律法によってではなく、**信仰による義**によってであったからです。

創 15:6 アブラムは【主】を信じた。それで、それが彼の義と認められた。

■「信仰によって義とされる」

➡ 聖書を貫く救いの大原則



契約の子・イスラエル

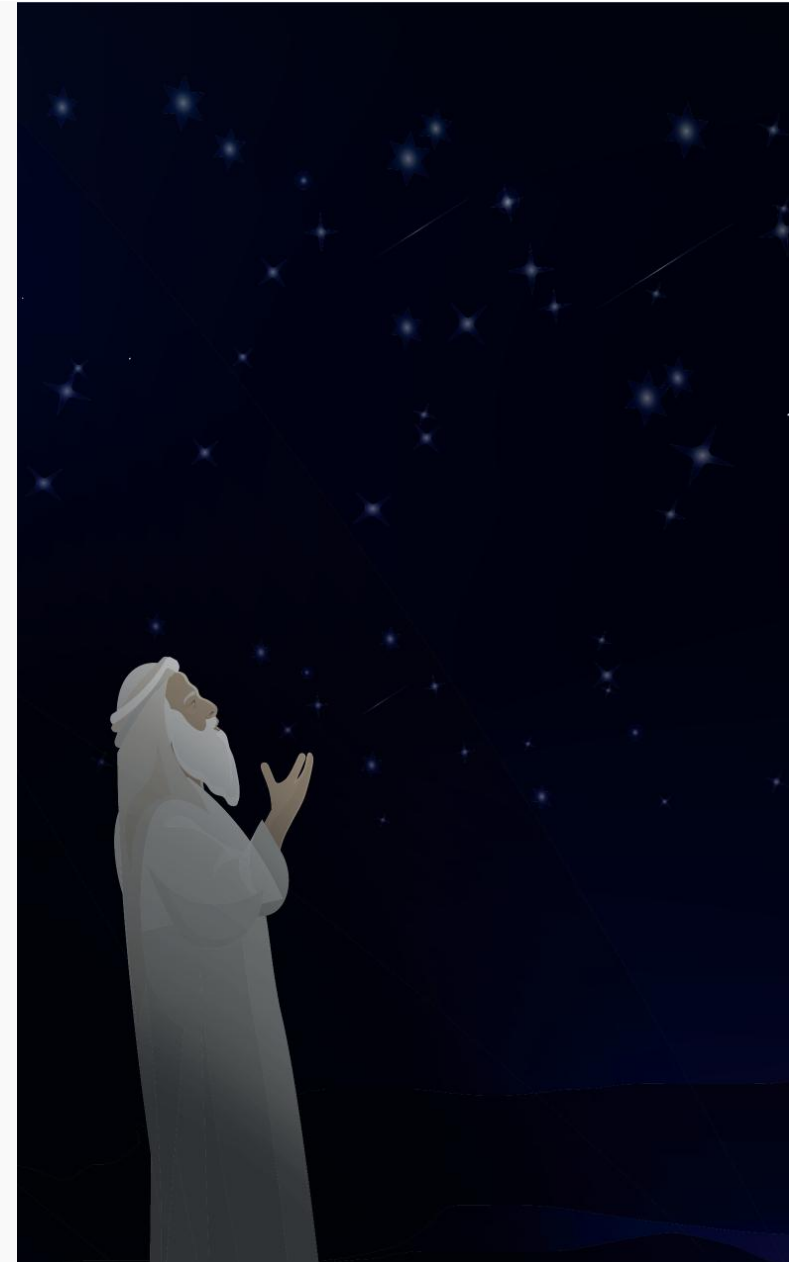
使徒 3:25

あなたがたは**預言者たちの子***であり、**契約の子***です。この契約は、神がアブラハムに『**あなたの子孫によって、地のすべての民族は祝福を受けるようになる**』と言って、あなたがたの父祖たちと結ばれたものです。

＊主の御言葉(預言)に生かされている神の民

＊神の民イスラエルの礎が、**アブラハム契約**

＊アブラハム契約の中心が、**メシア**の約束



イスラエルを守る主の契約 イザ29:22～23

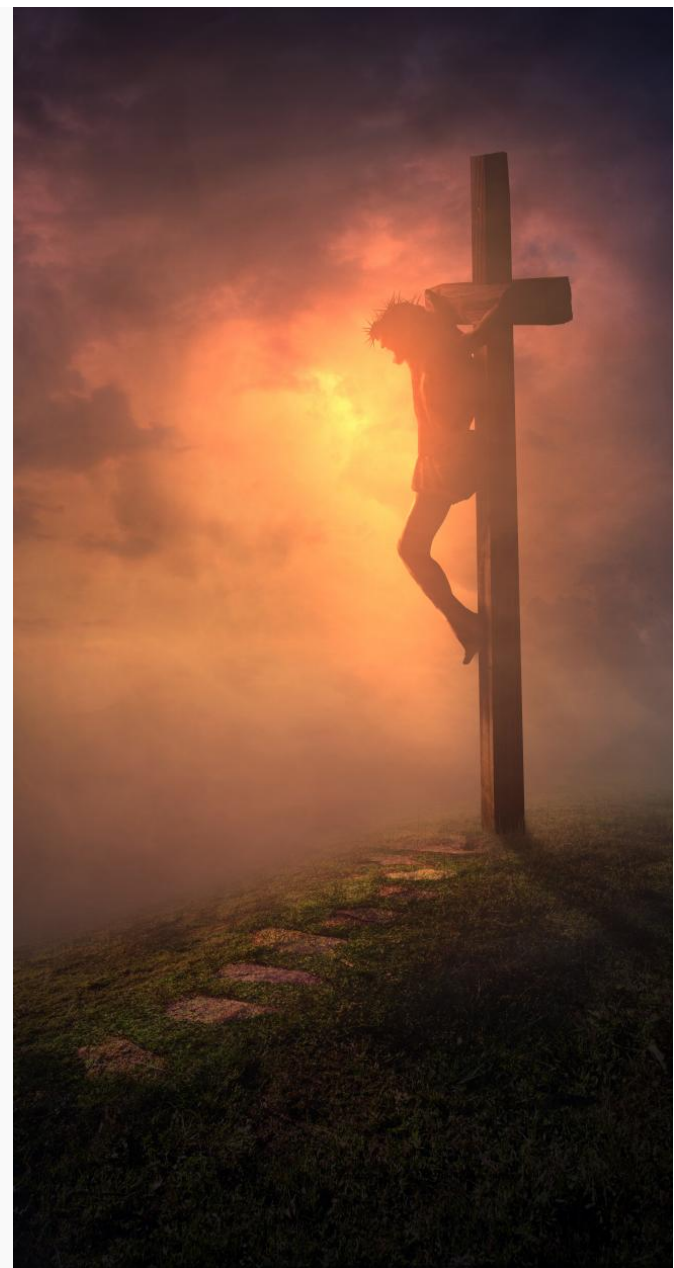
それゆえ、アブラハムを贖い出された【主】は、ヤコブの家についてこう言われる。

「今からヤコブは恥を見ることなく、今から顔が青ざめることはない。

彼が自分の子らを見て、自分たちの中に**わたしの手のわざ**を見るとき、彼らはわたしの名を聖とし、ヤコブの聖なる者を聖として、イスラエルの神を恐れるからだ。」

■ 神の御手のわざの究極のものが、

➡ **メシア**による裁きと救い

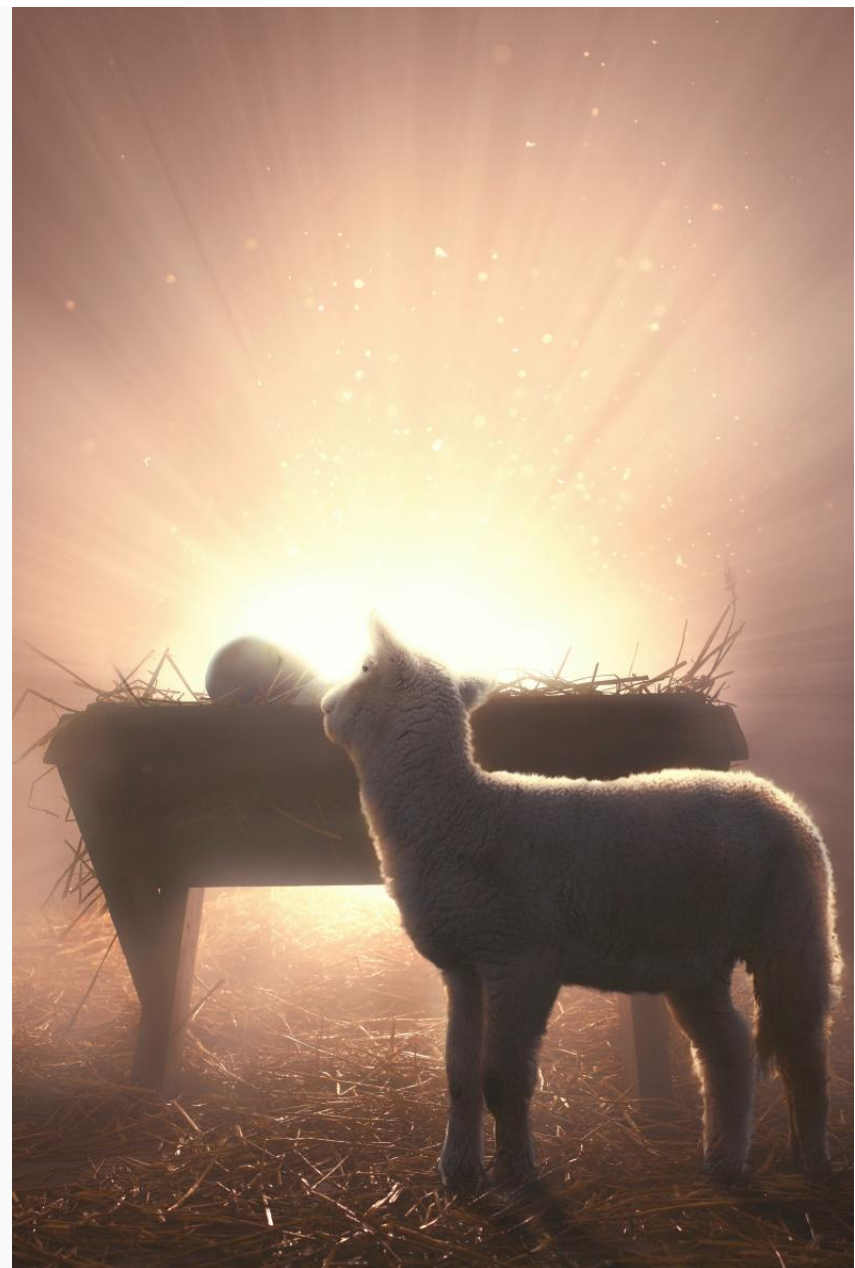


約束されたメシアの誕生 ルカ 1:55

■ マリアの賛歌

「私たちの父祖たちに語られたとおり、
アブラハムとその子孫に対するあわれみを
いつまでも忘れずに。」

■ アブラハムとイスラエルへの約束通り、
主は**メシア**を誕生させられた。



メシアの神性宣言

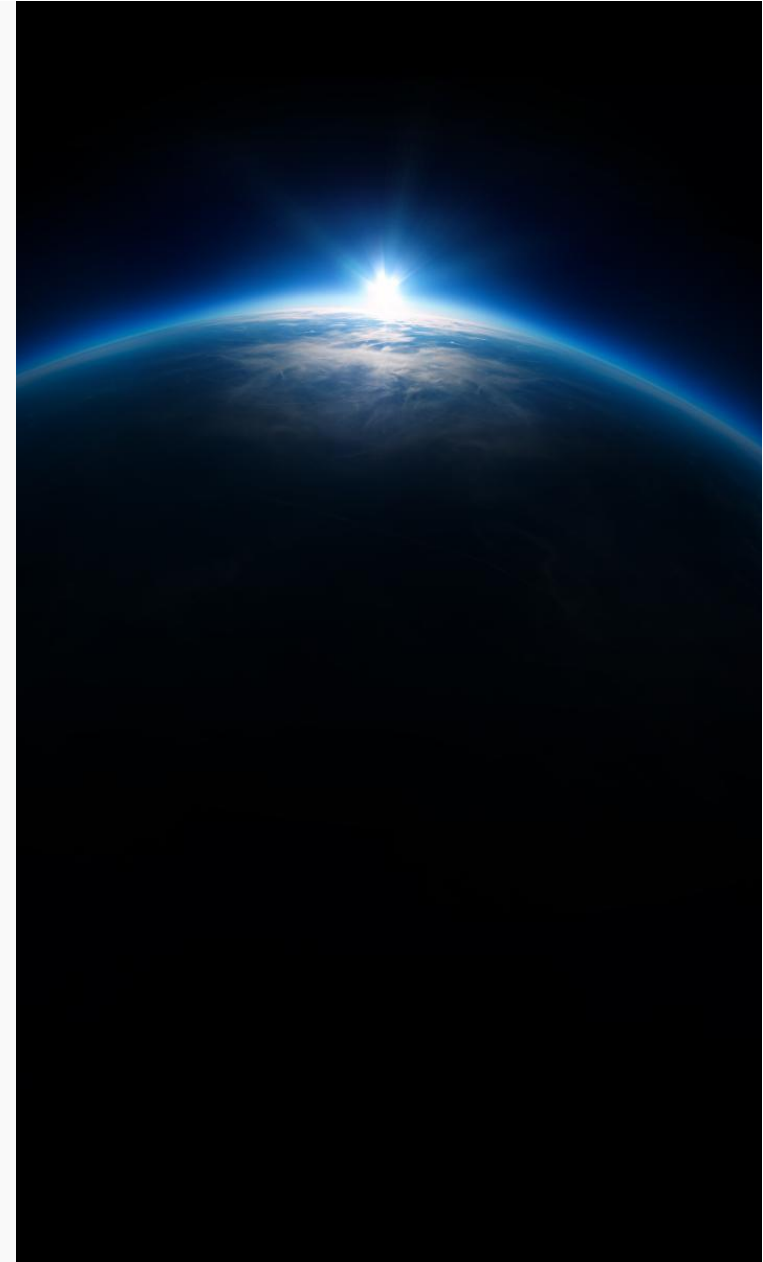
ヨハネ 8:58

イエスは彼らに言われた。

「まことに、まことに、あなたがたに言います。アブラハムが生まれる前から、『わたしはある*』なのです。」

＊モーセに告げられた神の名(出3:14)

■ アブラハムの子孫に誕生されたメシアは、
アブラハムを生み出された神ご自身である。



送られた救いのことば

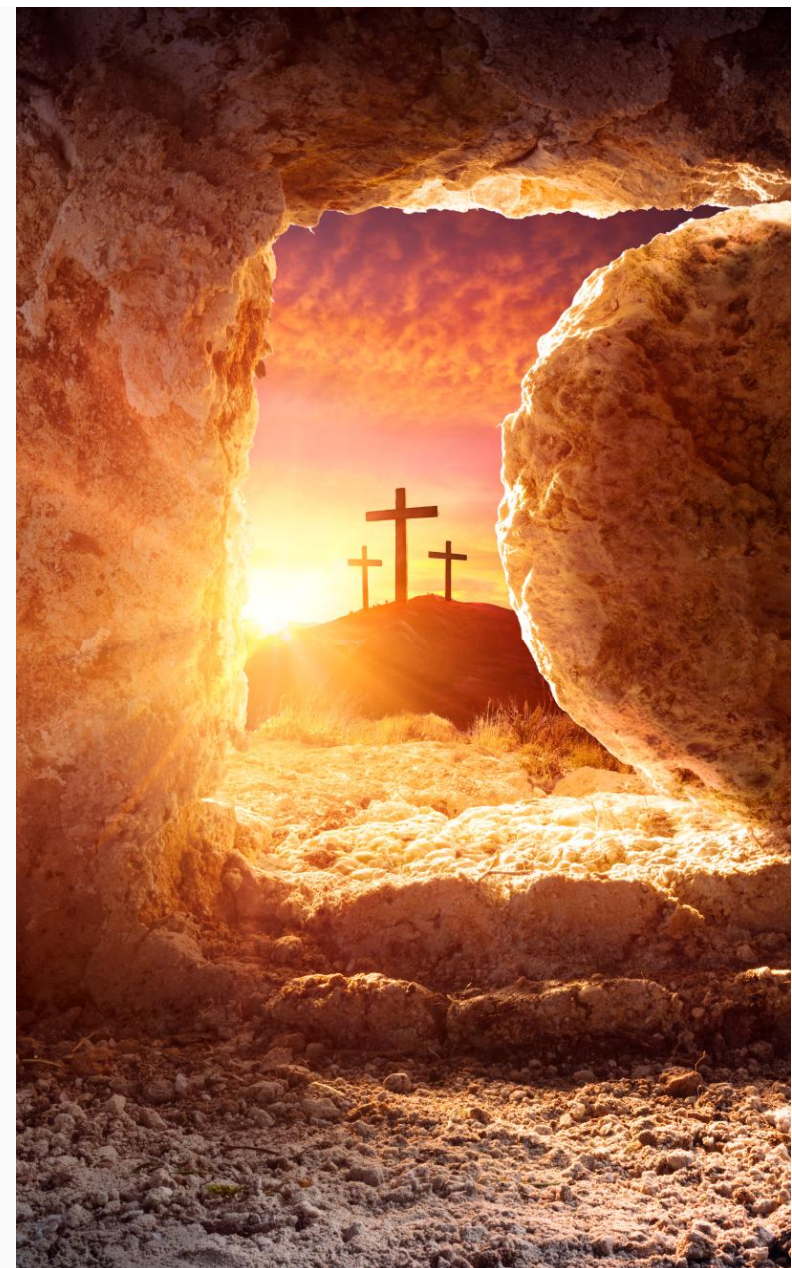
使徒 13:26

アブラハムの子孫である兄弟たち*、なら
びに、あなたがたのうちの神を恐れる方々*。
この救いのことば*は、私たちに送られたの
です。

■ **“救いのことば”なるメシア**は、

イスラエルと

神を恐れる異邦人のために来られた。

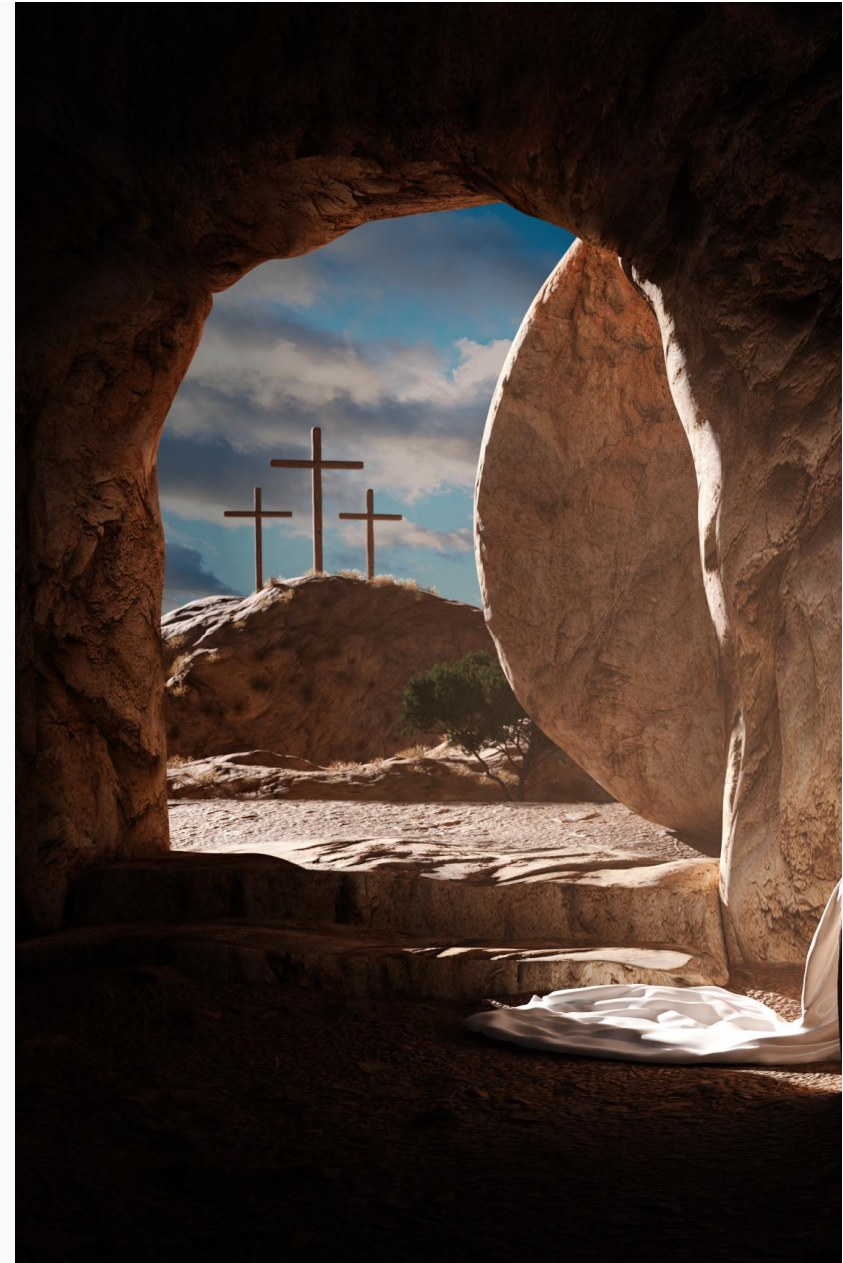


メシアへの信仰による救い

ロマ 4:16

そのようなわけで、すべては**信仰**によるのです。それは、事が恵みによるようになるためです。こうして、**約束**がすべての子孫に、すなわち、律法を持つ人々だけでなく、アブラハムの信仰に倣う人々にも保証されるのです。アブラハムは、私たちすべての者の父です。

■ イスラエルも異邦人も、
主イエスの福音を信じたすべての者は、
主の恵みの約束に、永遠に生かされる。





IV. まとめと適用

主の慈しみと厳しさを覚えよう

雨期の荒野

神のいつくしみと厳しさ

■ 異邦人信者へのパウロの警告 ロマ11:22

ですから見なさい、神のいつくしみと厳しさを。倒れた者の上にあるのは厳しさですが、あなたの上にあるのは神のいつくしみです。ただし、あなたがそのいつくしみの中にとどまっていればであって、そうでなければ、あなたも切り取られます。

いつくしみと厳しさは、愛と義の神の本質

永遠のいのちか 永遠の滅びか

■ 救いと滅びの分岐点 ロマ11:22

ですから見なさい、神の**いつくしみと厳しさ**を。倒れた者の上にあるのは**厳しさ**ですが、あなたの上にあるのは神の**いつくしみ**です。

- イスラエルも異邦人も、福音を信じて救われる。
信じない者は、誰もが永遠の滅びに至る。

私たち異邦人信者も、信仰によって恵みを与えられた

救いは失われることはないが…

「ただし、あなたがそのいつくしみの中にとどまっていればであって、そうでなければ、あなたも切り取られます」

- 信仰を失って裁かれたように見える人が確かにいる。
イスラエルにも、異邦人信者にも。
→ 実は信じていなかったと、結果的に分かる。
- 一度与えられた救いは失われることはないが、
信仰は目には見えない。信仰の確認は、日々必要。

変えられないこと 変えられること

- 目前の裁きは不可避だったイスラエル。
しかし、裁きに甘んじて救われる道が残されていた。
- 世の終わりの裁きも変えられない。
イスラエルと世界は、大艱難を避けられない。
しかし、個々には、
福音を信じる逃れの道が与えられている。

信仰者にも、蒔いた種の刈り取りはある

■ 義なる神は個々に報いを返される ガラテヤ6:7～10

思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、刈り取りもすることになります。

自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊に蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。

失望せずに善を行いましょう。あきらめずに続ければ、時が来て刈り取ることになります。

ですから、私たちは機会があるうちに、すべての人に、特に信仰の家族に善を行いましょう。

行うべき善とは？

私たち信仰者がなすべき“善”

ガラテヤ6:1～7

兄弟たち。もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人であるあなたがたは、**柔和な心でその人を正して**あげなさい。また、**自分自身も誘惑に陥らないように**気をつけなさい。

互いの重荷を負い合いなさい。そうすれば、キリストの律法を成就することになります。

だれかが、何者でもないのに、自分を何者かであるように思うなら、自分自身を欺いているのです。

それぞれ**自分の行いを吟味し**なさい。そうすれば、自分にだけは誇ることができても、ほかの人には誇ることができなくなるでしょう。人はそれぞれ、自分自身の重荷を負うことになるのです。

みことばを教えてもらう人は、**教えてくれる人と、すべての良いものを分かち合**いなさい。

主イエスがあなたを招かれている

■メシア預言 エレミヤ30:21～22

「その権力者は彼らのうちの一人、その支配者はその中から出る。わたしは彼を近づけ、彼はわたしに近づく。いのちをかけてわたしに近づく者は、いったいだれか。——【主】のことば——

あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。」

命を捨てて私を罪から贖い出された主を仰ぎ見よう

★ 主の慈しみと厳しさを覚えよう ★

- 主は、義と愛の神、厳しく、慈しみ深い方。
おそれをもってへりくだり、主を礼拝するのが信仰者。
- 主イエスは、人々の罪を指摘し、悔い改めを促された。
相手の過ちを柔和に正し、自分も誘惑を警戒しよう。
互いに重荷を負い、自分の行いを吟味しよう。

神の国に至る主イエスの道を共に歩み続けて行こう

てん　　とう　　わたし　　つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし　　かみ　　みこ　　しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし　　つみ　　あがな　　じゅうじか　　し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか　　ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ　　ふっかつ　　しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

しゅ　　あい　　ぎ　　かみ　　いつく　　ぶか　　きび　　かた
主は、愛と義の神。慈しみ深く、厳しいお方です。

しゅ　　みまえ　　れいはい
主の御前に、私たちは、おそれをもってへりくだり、礼拝します。

たが　　あやま　　にゅうわ　　ただ　　ゆうわく　　おち　　わたしじしん　　みは
互いの過ちを柔和に正し、誘惑に陥らないよう私自身を見張ります。

みことば　　かた　　た　　みたま　　み　　しゅ　　たす　　うち　　つか
御言葉に堅く立ち、御霊に満たされ、主の助けの内に遣わされます。

しゅ　　な　　いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　アーメン」